

カバー工法 屋内の作業環境が改善します

メリット *merit*

- 既存のスレート大波屋根をはがさず、施工できるので短い工期で施工できます。
- 新築屋根にも施工可能です。
- 二重の屋根になるため断熱性があり、屋内の作業環境が改善できます。
- 独自のデザイン性により企業イメージが向上します。

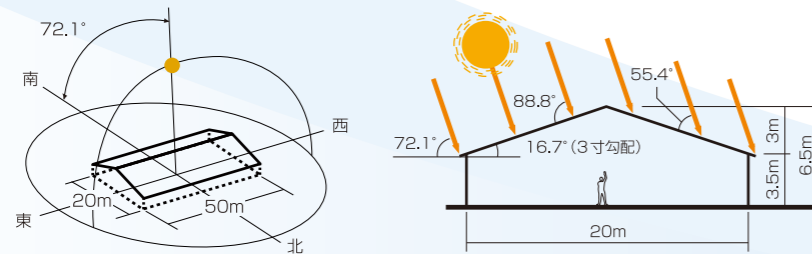


スレート屋根を鋼板でカバーすると、夏場晴天時の屋根面の貫流熱量が大幅に軽減されます。夏のピーク時では、スレート屋根のままでは室温が41°C程度まで上昇しますが、カバー工法で改修することにより33.0°C程度まで室温が低下します。また、屋根の裏面温度が下がることにより、室内への輻射熱が低下し、体感温度も下がります。

(計算値、詳細は下記をご覧ください) ※いずれも計算値です。実際の諸条件により差異が生じます。

温度シミュレーション (ピーク時の各部温度)		① 既存構造 スレート屋根	② 改修構造 スレート屋根 + ガルバリウム(GL)鋼板	③ 改修構造 スレート屋根 + グラスウール50mm + ガルバリウム(GL)鋼板	
換気状態	換気なし (換気回数 0回/hr.)	屋根表面温度	65.5°C	46.9°C	48.5°C
		屋根裏面温度	62.8°C	40.9°C	31.8°C
		屋内温度	41.5°C	33.0°C	29.6°C
	換気あり (換気回数 10回/hr.)	屋根表面温度	64.8°C	46.9°C	48.5°C
		屋根裏面温度	61.8°C	41.1°C	34.0°C
		屋内温度	38.3°C	33.8°C	32.1°C

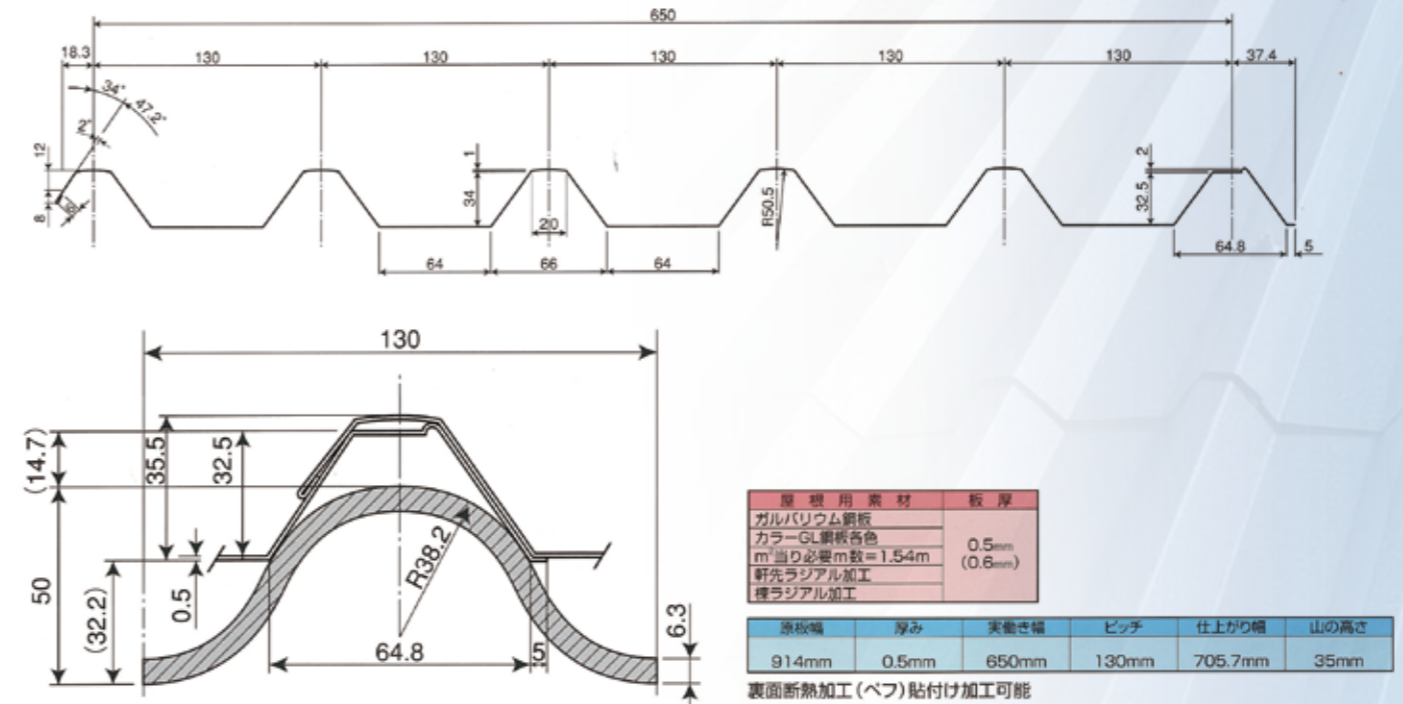
● 設定条件



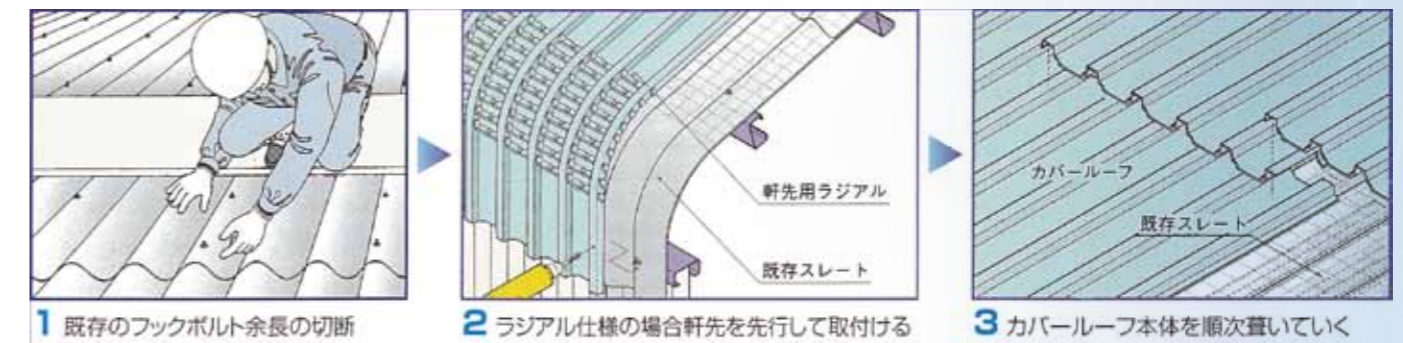
● 気象: 夏場、関東地区の晴天時 日射: 関東地区(東京都中央区 北緯35度41分 東経139度46分) 8月1日、外気温: 明け方27°C~ピーク時35°C(15:00)

Reカバールーフ 形状図

● 形状図



● Reカバールーフ施工手順



● Reカバールーフ葺き順序

